

# 価値創造プロセス

アルプス物流グループは、「ものづくりを支える最適物流を追求し、豊かな社会の実現に貢献します」の企業理念のもと、経営資本を駆使することで顧客ごとの高品質な物流サービスを実現しています。この事業創出プロセスを循環することで最適物流を進化させ、グループの持続的な成長を目指していきます。

**アルプス物流 企業理念** ものづくりを支える最適物流を追求し、豊かな社会の実現に貢献します

**流通サービス 経営理念** 私たちは地域社会の中で、消費者の暮らしに貢献できる消費物流に特化した総合物流企業をめざします

アルプス物流+流通サービス 第5次中計（2023年3月期～2025年3月期）基本方針 ▶ 地球と社会にやさしく・最適物流の追求と進化

マテリアリティ：6項目 25テーマ



## 経営資本

アルプス物流グループにとって、過去から成長とともに積み重ねてきた資本は、事業活動を支える基盤となり、企業価値を高めていく源となります。培ってきた資本を活かして独自の事業・価値創造を展開していくことで、さらに各資本の質を高めていき、持続的な成長の源泉としていきます。この循環を通して今後も持続的に成長を図っていくために、これらの資本の維持、増強を行っていきます。

(2023年3月期)

### 製造資本

- ① 多様な顧客ニーズに対応できるグローバルな物流拠点・ネットワーク
- ② 自動化・省人化・効率化を追求してきた物流設備

電子部品物流事業においては、多様な顧客ニーズ、複雑化するグローバルサプライチェーンに対応できるよう拠点・ネットワークを充実させています。繊細な電子部品に対応できるマテハン設備を導入するとともに、半導体の小分け分割、リール品へのラベル貼付などの装置を自社開発し、箱単位に加え、ピース単位での自動化を進めています。

消費物流事業においては、全国各地に生協の個配センターを持ち、通販会社の商品センターとしての大型の倉庫も有しています。騎西物流営業所においては、330台超のAGV<sup>※1</sup>、お客様と設備メーカーと共同開発した重量計付きAMR<sup>※2</sup>を使い、ピッキング工程を自動化しています。

電子部品物流 世界15カ国・地域	消費物流 国内115拠点 トラック2,400台	ピース単位の自動化機器を 自社開発
---------------------	----------------------------	----------------------

※1 AGV : Automatic Guided Vehicle (無人搬送車)  
 ※2 AMR : Autonomous Mobile Robot (自律走行搬送ロボット)

### 知的資本

- ① 貨物分野別の専門知見と総物流のノウハウ
- ② 高品質サービスを支える磨き上げられた業務システム

電子部品の取り扱いには繊細かつ高度化しており、物流機能にもより高度な専門知見や取扱技術が求められます。当社は商品の特性、お客様や納入先の特性を「物流個性」と呼び、作業工程やノウハウをデータで一元管理し、誰でも間違いなく作業ができる環境を構築しています。この「物流個性」運用を日本国内に限らず、各国でも行っており、日本と変わらない高品質を維持する源泉となっています。

消費物流においては、自動化設備を積極的に導入していますが、手作業ならではのきめ細やかな梱包やラッピングのノウハウが差別化要素だと考えています。

“物流個性”データベース 27万件の蓄積	運送・保管・輸出入貨物取扱・ 包装設計・梱包のノウハウ	自社開発倉庫管理システム 「ACCS」
-------------------------	--------------------------------	------------------------

### 財務資本

- ① 安定した財務基盤とキャッシュ創出

健全な財務基盤を有していることが持続的な成長を支えます。当社の安定した財務基盤とキャッシュ創出力は、投資に必要な資本を有利に確保することを可能にしています。また、攻めの事業拡大だけでなく守りの面でも、急激な環境変化や予期せぬ経済危機にも耐えうる財務体質を維持しています。

営業キャッシュ・フロー 109億円	自己資本比率 58.9%
----------------------	-----------------

### 人的資本

- ① 専門性を支える熟練人材、質の高いドライバー人材
- ② 「品質」マインドを追求・醸成する組織風土と教育制度

物流現場の自動化・省人化が進む一方、サービスの根幹を支えるのは「人」です。「物流個性」として登録した知見やノウハウを生かせるよう、人材育成を通じて倉庫スタッフ・ドライバーの運用力の向上に努めています。教育・研修による能力開発に加え、現状に満足することなく、より高い品質のサービスを提供するための改善マインドを従業員一人ひとりが持てるような組織風土の醸成に取り組んでいます。

総従業員数(連結) 5,844名	平均勤続年数 14.6年(アルプス物流単独)	有資格者数 累計1,000人以上
---------------------	---------------------------	---------------------

### 社会・関係資本

- ① 「品質」に基づくお客様からの支持・信頼関係
- ② 取引先(パートナー企業)等との良好な関係

当社グループは、「お客様」「従業員」「地域社会・国際社会」「取引先(パートナー企業)」「株主・投資家」などのステークホルダーの皆様と良好な関係を築き、事業を営んできました。今後も双方向のコミュニケーションを通して、信頼関係の構築に努めていきます。

電子部品物流 顧客アカウント数 7,000超	生協個配市場シェア 28% <sup>※3</sup> (業界トップ)	輸送パートナー企業 200社超 (アルプス物流単独)
------------------------------	---	----------------------------------

※3 生協個配のパートナー会社のなかでシェアトップ(出典：コープソリューション新聞2023年6月1日付)

### 自然資本

- ① 最適物流を通じエネルギーや資源の効率化を追求

当社グループは、軽油や電力などの自然資本を活用して事業を営んでいます。グリーンロジスティクスを推進し、環境への負の影響を最小化するとともに、自然との調和を大切にし、地球環境の保全に努めています。

エネルギー総使用量 <sup>※4</sup> 71,485kWh
--------------------------------------

※4 対象：アルプス物流単独、流通サービス

## 事業サイクルと強み

### 高品質な最適物流を実現し続ける事業サイクル

アルプス物流グループの強みの源泉は、品質へのこだわりであり、管理体制とノウハウ、そして人材によって生み出されています。知見を蓄積し、専門性を高め、高品質を実現することでお客様からの信頼を得てビジネスを受託する。ビジネスを通じ、お客様と向き合うことで、さらなる知見の蓄積につなげる。このサイクルとデジタル・システム基盤、物流拠点・ネットワークによってお客様ごとの最適物流を実現しています。

#### 専門物流プラットフォームのビジネスサイクル



#### サイクルの基盤となる強み

デジタル・システム基盤

物流拠点・ネットワーク

#### 品質へのこだわり

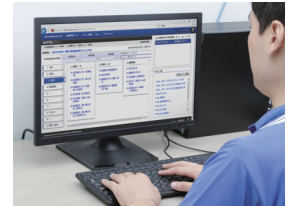
アルプス物流は、品質を提供価値の根幹と考えており、お客様へ高精度かつ柔軟な対応やスピード感あるサービスを提供するうえで欠かせない要素と位置づけています。高精度な在庫管理や多様な納品仕様への対応など高効率な物流機能に加え、ものづくりへの深い理解、荷主視点での提案で品質を追求しています。例えば、国内の電子部品保管業務では年間1千万件を超える出荷指示がありますが、不具合は1桁ppm (parts per million) にとどまっています。現状に満足することなく、より高い品質のサービスを提供するための改善マインドを従業員一人ひとりが持てるよう、教育・研修に加え組織風土の醸成に取り組んでいます。

流通サービスでは、生協のパートナーとしてドライバーが食料品や生活雑貨を組合員様のご自宅にお届けします。そのため、ドライバーの「サービス品質」が重要な要素です。ドライバーの配送時の運転マナーや駐車場の配慮は当然ながら、安全確認の重要性を徹底教育しています。また、ご不在の組合員様への丁寧な配送や、近隣住民の方との関わりも大切にし、積極的な挨拶から始まり、地域に密着した担当ドライバーとして行動するよう努めています。



#### デジタル・システム基盤

アルプス物流は倉庫管理システム (ACCS) をはじめ、さまざまな物流情報システムを自社で開発・カスタマイズして運用しており、共同保管・共同集配の基盤となっています。約半世紀に渡る取引実績から得た経験やノウハウを結集し、一社一社固有のシステム環境や業務の仕組みに合わせて最適化することで、お客様に柔軟に対応できるシステム基盤を整備しています。「物流個性」と呼ぶ商品特性や顧客特性をきめ細かく把握したうえで、求められている役割をカスタマイズで具現化できること、そして、開発の時間やコストを大幅に削減できること。これらの利点を最大に生かすことができるのは、当社人材の運用力によるものです。アルプス物流は、物流情報システムの進化や改善に絶えず取り組むことで、お客様の物流マネジメントの進化へ貢献します。



#### 物流拠点・ネットワーク

アルプス物流はお客様の立地条件や物流動向などを分析し、国内外へ拠点を設置し、輸送ネットワークを構築しています。各拠点において、お客様とその納品先を「Door to Door」でつなぎ、保管から運送、包装、フォワーディングまで、すべてを1社でサポートすることが可能です。アルプス物流では、各工程だけではなく、複数の工程間のつなぎを意識して全体最適を目指す「TIE (トータル・インダストリアル・エンジニアリング)」という手法を用いて、「グローバルワンチャンネルサービス」を提供しています。国内のお客様の倉庫から国際輸送し、輸出先の保管倉庫や納品先へ運ぶ。そのすべての工程をアルプス物流という一つのチャンネルにまとめることで、各物流プロセスでのリードタイム短縮、ムダの削減、物流品質の向上など、サプライチェーン全体の最適化を構築できます。

